



宮崎日日新聞の「若い目」に佐川涼さん
(宮崎南小学校出身/中学2年)と福岡知
宏くん(財部小学校出身/中学2年)の作
文が掲載されました。

動物捨てないで

宮崎第一中2年 富岡 知宏

「あっかわいい」。この一言を聞いて、これからの物事がマイナスな方向へ向かうとは誰も想像できないだろう。いつも私が登校している道に猫がうろうろしていた。首輪もしていた。「飼い猫だろう」。そう思ってその日はほった。次の日その猫は同じような所をうろうろしていた。その日もほった。だが次の日も次の日も猫は同じような所をうろうろしている。もしかして…。私の頭の中に一つの考えが浮かんだ。それから数日後、道路に猫が横たわっていた。その体は動くことばな

父の思いを感じる

宮崎第一中2年 佐川 涼

私は梅雨が好きではありません。なぜなら私は自転車通学生で、雨が降っているとレインコートを着なければいけないからです。私はレインコートが嫌いです。父が車から

見ても目立つようにと買ってきてくれたレインコートは紫色だったので。

確かに紫色は車からも目立つから事故にあいにくいかもしれない。しかし、目立つ色だから歩行者や他の自転車通生に見られてとても恥ずかしいです。また、フリーサイズのため背の低い私には大きさが合わず、長すぎて自転車がかぎにくいのです。

父が私のことを思って買ってきてくれた紫色のレインコート。私は恥ずかしいという理由だけで雨の日が嫌いではありません。しかし今は嫌いではありません。恥ずかしさに変わりはなく、着るたびに父の優しさに守られているような気がします。

梅雨が終わり着る機会は減りましたが、次の出番が来るまで大切にしまっておこうと思います。

(宮崎市)

宮崎日日新聞(8月15日掲載)

動物捨てないで

宮崎第一中2年 富岡 知宏

「あっかわいい」。この一言を聞いて、これからの物事がマイナスな方向へ向かうとは誰も想像できないだろう。いつも私が登校している道に猫がうろうろしていた。首輪もしていた。「飼い猫だろう」。そう思ってその日はほった。次の日その猫は同じような所をうろうろしていた。その日もほった。だが次の日も次の日も猫は同じような所をうろうろしている。もしかして…。私の頭の中に一つの考えが浮かんだ。それから数日後、道路に猫が横たわっていた。その体は動くことばな

子猫のうちにかわいかったのだらう。だがだんだん大きくなっていくと愛情も消えていく。そんな人は、猫を、動物を飼うべきではない。

私は家で猫を飼っているが一度も捨てようなんて思ったこともない。一度飼うと決めたのなら、死ぬまで、いやそのぬへもりがなくなるまで見守るべきだ。

(宮崎市)

宮崎日日新聞(8月26日掲載)